

# 最も普通にみられる生き物の中にこそおもしろい課題が！ 日本と台湾に分布するジャゴケ属（苔類）の分類学的研究



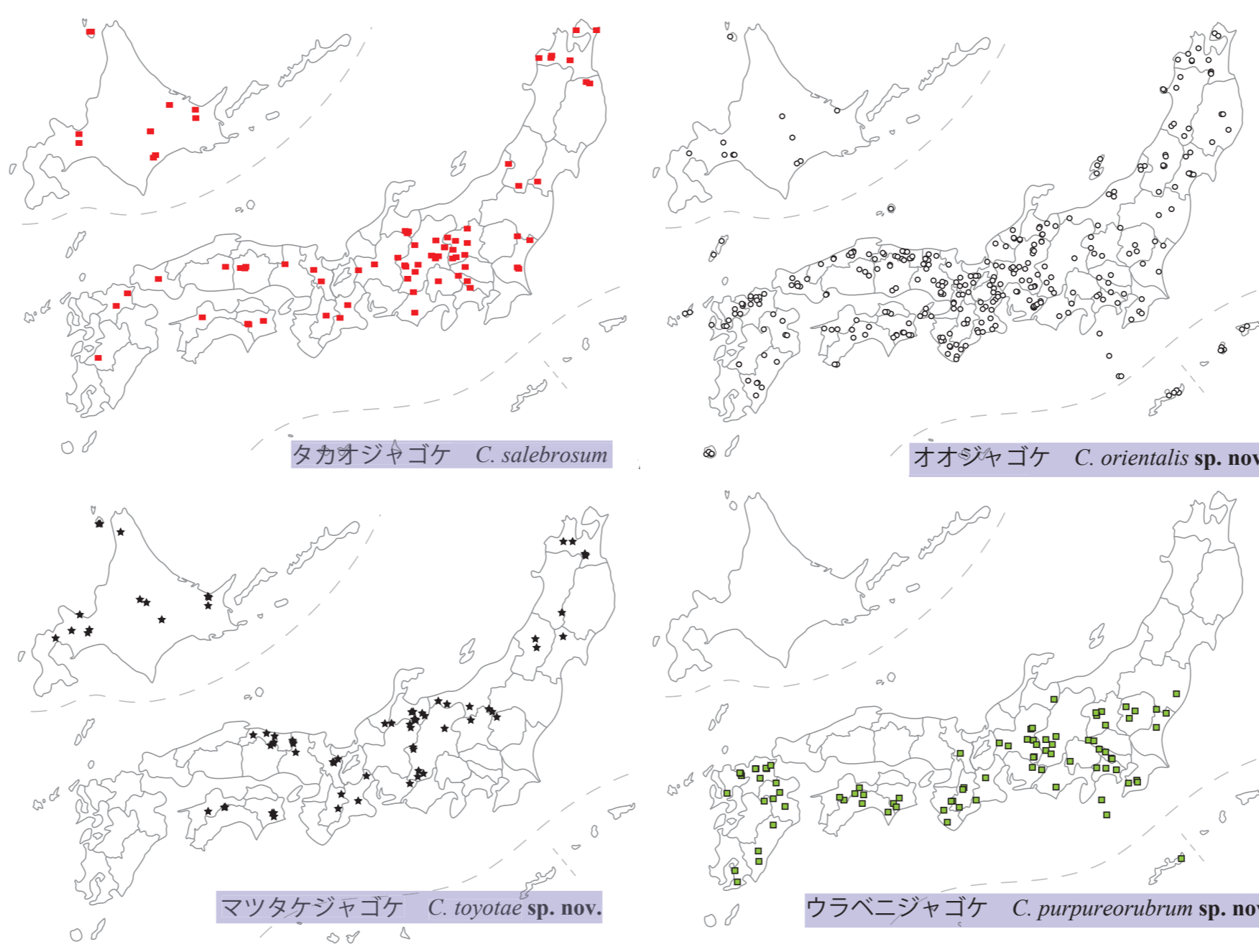
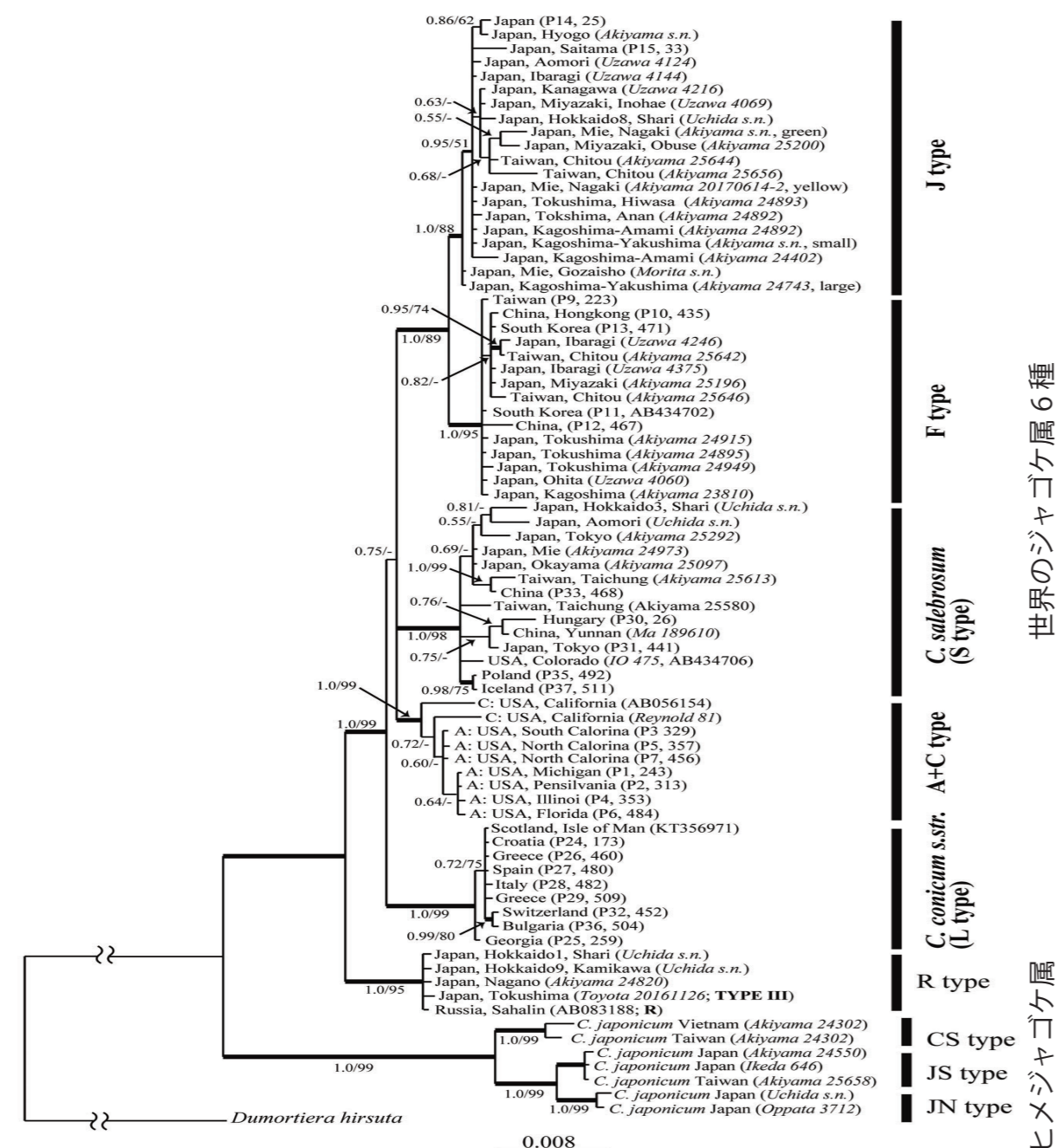
自然・環境評価研究部 系統分類研究グループ

秋山 弘之

ジャゴケという苔類の仲間をご存じでしょうか。近畿であればすこし山間の溪流沿いに行くと、流れのそばなどでほぼ必ず見つけることができます。幅1-2cmほどの扁平な「葉状体」が目印で、葉状体の表面にははっきりとした蛇の目模様が見られます。長い間日本にはジャゴケ *Conocephalum conicum* とヒメジャゴケ *C. japonicum* の2種だけが分布すると考えられてきましたが、分子系統解析の結果、日本と台湾にはジャゴケだけで4種（うち3種が新種）が、それぞれ異なる分布域を持って共存していることがわかりました。

世界のジャゴケ属6種と、新しく認められたヒメジャゴケ属3種の系統関係をしめす図

新しく記載された3種を含む4種の分布域（日本のみを表示）



日本産4種の中で最も普通にみられるオオジャゴケ



Akiyama, H. & I. J. Odrzykoski (2021). Phylogenetic re-examination of the genus *Conocephalum* Hill. (Marchantiales: Conocephalaceae). Bry. Div. Evol. 42(1): 1-18.

Akiyama, H. (2022). Morphological and ecological diversification of *Conocephalum conicum* complex in Japan and Taiwan. Humans and Nature 32: 1-18.